

第84回国民スポーツ大会  
第29回全国障害者スポーツ大会  
島根県準備委員会

第2回 広報・地域づくり専門委員会



別冊

令和6年5月30日（木）

ホテル白鳥 2階「朱鷺の間」



島根 **かみあり** 国スポ・全スポ  
自分を **超える**、神話をつくれ  
第84回国民スポーツ大会 **2030** 第29回全国障害者スポーツ大会



島根県観光キャラクター「しまねっこ」

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画改正

令和3年10月12日  
第2回常任委員会決定  
令和6年3月14日  
第4回常任委員会改正

年度	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	
逆年	(開催12年前) 内々定	(開催11年前)	(開催10年前)	(開催9年前)	(開催8年前)	(開催7年前)	(開催6年前)	(開催5年前) 内定	(開催4年前)	(開催3年前) 決定	(開催2年前)	(開催1年前)	開催年	
開催手続	開催要望書提出 (日ス協・文科省)						中央競技団体視察	開催申請書提出 (日ス協・文科省)		日ス協・文科省視察 決定書受領(会期確定)		中央競技団体視察		
準備組織等	県	国スポ担当スタッフ設置 (スポーツ振興課内)	国スポ準備室設置 (スポーツ振興課内)	業務の増加・細分化に応じて組織を拡充(課の設置など)					国スポ準備局設置			県行幸啓本部	大会実施本部	
	市町村		市町村担当者会議				会場地市町村国スポ準備委員会(随時設置)			会場地市町村国スポ実行委員会			市町村競技会実施本部	
	競技団体		競技団体担当者会議	競技運営計画 競技役員等養成計画	競技役員等養成の推進									
組織	国スポ・全スポ検討懇話会	国スポ・全スポ準備委員会	総会 常任委員会	総務企画専門委員会 競技運営専門委員会 広報・機運醸成専門委員会	全国障害者スポーツ大会 専門委員会	宿泊・衛生専門委員会 輸送・交通専門委員会 式典専門委員会	警備・消防専門委員会 募金・協賛推進委員会	魅力発信・誘客専門委員会					国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ大会 実行委員会	最終総会 解散
	【提言内容】 ・目指す成果と開催の意義 ・鳥根における大会のあり方 ・取組の方向性													
全体計画		開催基本方針 会場地市町村選定基本方針 総合開・閉会式会場選定	開催準備総合計画(1次)	開催基本構想策定						開催準備総合計画(随時更新)				
総務企画	会場地選定	会場地市町村選定基準	国スポ 正式競技・特別競技 会場地市町村選定(数次)	国スポ 公開競技・デモンストレーションスポーツ 会場地市町村選定	全スポ 個人競技・団体競技 会場地市町村選定	全スポ オープン競技 会場地市町村選定								
	業務分担	県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針 業務分担・経費負担細目												
	市町村及び競技団体への意向調査・ヒアリング、選定調整													
	競技施設基礎調査	競技施設詳細調査												
	競技施設整備基本方針	競技施設基準	競技施設整備計画											
文化プログラム							文化プログラム基本方針			文化プログラム実施計画・実施要項・募集			文化プログラム実施	
情報通信								情報通信基本方針	情報通信基本計画	情報通信システムの調整			情報通信本部	
行幸啓等										行幸啓の準備(行幸啓・お成り計画、警衛計画)			行幸啓等最終調整	
総合案内										総合案内基本方針	総合案内準備の推進			総合案内
競技運営	競技運営	競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針 競技役員等養成基本計画	競技運営基本方針 公開競技実施基本方針	競技役員等養成事業	記録業務基本方針	リハーサル大会 開催準備要項	記録関係業務基本計画	記録関係業務運営要綱					競技役員等編成	
	競技用具		デモンストレーション スポーツ実施基本方針	デモンストレーションスポーツ実施競技選定									リハーサル大会実施本部	
広報・地域づくり	広報	広報基本方針、基本計画		広報活動の推進(ホームページ、SNS、広報誌、チラシ、ポスター、各種メディア活用、懸垂幕、横断幕、記録映像等)									報道本部	
	機運醸成	愛称、スローガン募集・決定	マスコットキャラクター、イメージソング等の作成検討(募集・決定)										全国報道者会議	
魅力発信・誘客														
宿泊・衛生	宿泊		宿泊基礎調査	宿泊基本方針	宿泊基本計画					鳥根の魅力発信に向けた取組の検討・推進	宿泊施設実態調査	宿泊本部		
	医事・衛生									宿泊準備の推進(総合配宿計画、広域配宿及び民泊基本計画等)	宿泊料金決定	宿泊要項		
輸送・交通														
式典・会場	式典													
	会場													
警備・消防														
全国障害者スポーツ大会														
募金・協賛														

第84回国民スポーツ大会 第29回全国障害者スポーツ大会

県準備委員会(実行委員会)

リハール大会

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画改正

参考（改正前）

年度	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)
逆年	(開催12年前) 内々定	(開催11年前)	(開催10年前)	(開催9年前)	(開催8年前)	(開催7年前)	(開催6年前)	(開催5年前) 内定	(開催4年前)	(開催3年前) 決定	(開催2年前)	(開催1年前)	開催年
開催手続	開催要望書提出 (日ス協・文科省)						中央競技団体視察	開催申請書提出 (日ス協・文科省)		日ス協・文科省視察 決定書受領(会期確定)		中央競技団体視察	
準備組織等	県	国スポ担当スタッフ設置 (スポーツ振興課内)	国スポ準備室設置 (スポーツ振興課内)	業務の増加・細分化に応じて組織を拡充(課の設置など)					国スポ準備局設置			県行幸啓本部	大会実施本部 警衛本部
	市町村		市町村担当者会議						会場地市町村国スポ準備委員会(随時設置)	会場地市町村国スポ実行委員会			市町村競技会実施本部
	競技団体		競技団体担当者会議	競技運営計画 競技役員等養成計画					競技役員等養成の推進				
組織		国スポ・全スポ検討懇話会 【提言内容】 ・目指す成果と開催の意義 ・島根における大会のあり方 ・取組の方向性	国スポ・全スポ準備委員会 総会 常任委員会						全国障害者スポーツ大会 専門委員会	宿泊・衛生専門委員会 警備・消防専門委員会 魅力発信・誘客専門委員会	国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ大会 実行委員会		最終総会 解散
			競技力向上対策本部 設置 総務企画専門委員会 競技運営専門委員会 広報・機運醸成専門委員会						広報・地域づくり専門委員会 式典専門委員会				
全体計画		開催基本方針 会場地市町村選定基本方針 総合開・閉会式会場選定	開催準備総合計画(1次)	開催基本構想策定					開催準備総合計画(随時更新)			大会報告書	
総務企画	会場地選定	会場地市町村選定基準	国スポ正式競技・特別競技 会場地市町村選定(数次)	国スポ 公開競技・デモンストレーションスポーツ 会場地市町村選定						全スポ オープン競技 会場地市町村選定			
	競技式典会場	県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針 業務分担・経費負担細目	全スポ 個人競技・団体競技 会場地市町村選定					全スポ オープン競技 会場地市町村選定					
	文化プログラム	市町村及び競技団体への意向調査・ヒアリング、選定調整						県・市町村の競技施設及び式典会場整備の推進					
	情報通信	競技施設基礎調査	競技施設詳細調査						文化プログラム基本方針				
	行幸啓等	競技施設整備基本方針	競技施設基準	競技施設整備計画					情報通信基本方針				
	総合案内								文化プログラム実施計画・実施要項・募集				
競技運営	競技運営	競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針 競技役員等養成基本計画	競技運営基本方針 公開競技実施基本方針	競技役員等養成事業	記録業務基本方針					リハーサル大会 開催準備要項	記録関係業務基本計画 記録関係業務運営要綱	競技役員等編成	
	競技用具		デモンストレーション スポーツ実施基本方針	デモンストレーションスポーツ実施競技選定					リハーサル大会実施本部				
広報・地域づくり	広報	広報基本方針、基本計画	広報活動の推進(ホームページ、SNS、広報誌、チラシ、ポスター、各種メディア活用、懸垂幕、横断幕、記録映像等)					競技用具整備計画					
	機運醸成	愛称、スローガン募集・決定	マスコットキャラクター、イメージソング等の作成検討(募集・決定)					競技用具整備の推進					
	地域づくり		時期に応じた講演会・スポーツイベント等の実施					競技用具整備の推進					
魅力発信・誘客			県民運動基本方針 県民運動基本計画					県民運動の推進(各種グッズの作成及び配布、花いっぱい運動等の実施団体支援など)					
宿泊・衛生	宿泊		地域経済活性化に向けた取組の検討・推進					ボランティアの募集・養成					
	医事・衛生		島根の魅力発信に向けた取組の検討・推進					鳥根の魅力発信に向けた取組の検討・推進					
輸送・交通	輸送	主会場周辺の輸送・ 交通等に関する調査	主会場周辺の輸送・交通等に係る課題整理、調整	輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画	輸送・交通業務指針	全国輸送基礎調査	開・閉会式輸送計画	交通規制計画				
	式典		輸送・交通等に関する調整・施設整備の推進					全国輸送計画・会場地輸送調整					
式典・会場	式典		式典基本方針	式典基本構想	式典基本計画	式典準備の推進(式典演技、式典音楽、炬火リレー、リハーサル等)							
	会場		会場管理基本方針					会場管理基本計画	会場管理体制の整備				
警備・消防			警備・消防・防災 基本方針・基本計画					警備・消防・防災準備の推進(関係機関との協力体制構築、業務指針、マニュアル等の作成など)					
全国障害者スポーツ大会			オープン競技実施基本方針	競技役員等の養成、ボランティア募集・養成等									
募金・協賛			全スポ開催に向けた課題の整理	国スポとの一体的な開催に向けた検討					競技用具整備				
				募金・企業協賛 推進基本方針・要項					募金・企業協賛活動の推進				

第84回国民スポーツ大会  
第29回全国障害者スポーツ大会

県準備委員会(実行委員会)

リハール大会

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画改正

R6.3.14常任委員会  
改正内容朱書

年度	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)
逆年	(開催12年前) 内々定	(開催11年前)	(開催10年前)	(開催9年前)	(開催8年前)	(開催7年前)	(開催6年前)	(開催5年前) 内定	(開催4年前)	(開催3年前) 決定	(開催2年前)	(開催1年前)	開催年
開催手続	開催要望書提出 (日ス協・文科省)						中央競技団体視察	開催申請書提出 (日ス協・文科省)		日ス協・文科省視察 決定書受領(会期確定)		中央競技団体視察	
準備組織等	県	国スポ担当スタッフ設置 (スポーツ振興課内)	国スポ準備室設置 (スポーツ振興課内)	業務の増加・細分化に応じて組織を拡充(課の設置など)					国スポ準備局設置			県行幸啓本部	大会実施本部 警衛本部
	市町村		市町村担当者会議				会場地市町村国スポ準備委員会(随時設置)			会場地市町村国スポ実行委員会			市町村競技会実施本部
	競技団体		競技団体担当者会議		競技運営計画 競技役員等養成計画	競技役員等養成の推進							
組織		国スポ・全スポ検討懇話会 【提言内容】 ・目指す成果と開催の意義 ・鳥根における大会のあり方 ・取組の方向性	国スポ・全スポ準備委員会 総会 常任委員会	総務企画専門委員会 競技運営専門委員会 広報・機運醸成専門委員会	全国障害者スポーツ大会 専門委員会 広報・地域づくり専門委員会	宿泊・衛生専門委員会 輸送・交通専門委員会 式典専門委員会	警備・消防専門委員会 募金・協賛推進委員会	魅力発信・誘客専門委員会			国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ大会 実行委員会		最終総会 解散
	全体計画		開催基本方針 会場地市町村選定基本方針 総合開・閉会式会場選定 会場地市町村選定基準	開催準備総合計画(1次)	開催基本構想策定	開催基本構想策定期間の短縮				開催準備総合計画(随時更新)			大会報告書
総務企画	会場地選定		国スポ 正式競技・特別競技 会場地市町村選定(数次)	国スポ 公開競技・デモンストレーションスポーツ 会場地市町村選定	全スポ 個人競技・団体競技 会場地市町村選定	全スポ オープン競技 会場地市町村選定	会場地市町村選定期間の延長	会場地市町村選定期間の短縮					
	競技式典会場	県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針 業務分担・経費負担細目											
	文化プログラム									文化プログラム基本方針	文化プログラム実施計画・実施要項・募集	文化プログラム実施	
	情報通信									情報通信基本方針	情報通信基本計画	情報通信システムの調整	情報通信本部
	行幸啓等										行幸啓の準備(行幸啓・お成り計画、警衛計画)		行幸啓等最終調整
	総合案内										総合案内基本方針	総合案内準備の推進	総合案内
競技運営	競技運営		競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針 競技役員等養成基本計画	競技運営基本方針 公開競技実施基本方針	競技役員等養成事業		記録業務基本方針	リハーサル大会 開催準備要項		記録関係業務基本計画	記録関係業務運営要綱	競技役員等編成 記録本部	
	競技用具			デモンストレーション スポーツ実施基本方針	デモンストレーションスポーツ実施競技選定						リハーサル大会実施本部	総合・競技別 プログラム	
広報・地域づくり	広報		競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本計画	競技用具整備基本方針	競技用具整備の検討					競技用具整備計画	競技用具整備の推進	報道本部	
	機運醸成	広報基本方針、基本計画	広報活動の推進(ホームページ、SNS、広報誌、チラシ、ポスター、各種メディア活用、懸垂幕、横断幕、記録映像等)									全国報道者会議	
	地域づくり	愛称、スローガン募集・決定	マスコットキャラクター、イメージソング等の作成検討(募集・決定)										
魅力発信・誘客													
宿泊・衛生	宿泊												宿泊本部
	医事・衛生												救護本部・救護所
輸送・交通		主会場周辺の輸送・ 交通等に関する調査	主会場周辺の輸送・交通等に係る課題整理、調整	輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画	輸送・交通業務指針							輸送本部
	式典・会場												式典本部
警備・消防													警備本部
全国障害者スポーツ大会													消防・防災本部
募金・協賛													

第84回国民スポーツ大会  
第29回全国障害者スポーツ大会

県準備委員会(実行委員会)

令和6年3月14日  
第4回常任委員会決定

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会

## 開催基本構想



自分を**超**えろ、**神**話をつくれ

島根 **かみあり**

国スポ・全スポ

**2030**

第84回国民スポーツ大会

第29回全国障害者スポーツ大会



# 第1章 島根かみあり国スポ・全スポの開催で目指すところ

## 1. 大会の概要

### 1. 国民スポーツ大会とは

国民スポーツ大会（国スポ）は、各都道府県持ち回り方式で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。

#### 【目的】

- ① 広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図ること
- ② 地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすること

#### 【形式】

競技得点の合計を競い合う、都道府県対抗方式で開催されます。

天皇杯（男女総合成績1位）・皇后杯（女子総合成績1位）の獲得を目指し、都道府県代表選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

#### 【実施競技】

##### ●実施予定競技（正式競技：37 競技 ※競技得点の対象となる競技）

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| ・陸上競技       | ・水泳         | ・サッカー       |
| ・テニス        | ・ローイング      | ・ホッケー       |
| ・ボクシング      | ・バレーボール     | ・体操         |
| ・バスケットボール   | ・レスリング      | ・セーリング      |
| ・ウェイトリフティング | ・ハンドボール     | ・自転車        |
| ・ソフトテニス     | ・卓球         | ・相撲         |
| ・フェンシング     | ・柔道         | ・ソフトボール     |
| ・バドミントン     | ・弓道         | ・ライフル射撃     |
| ・剣道         | ・ラグビーフットボール | ・スポーツクライミング |
| ・カヌー        | ・アーチェリー     | ・空手道        |
| ・クレール射撃     | ・ボウリング      | ・ゴルフ        |
| ・軟式野球       | ・銃剣道        | ・なぎなた       |
| ・トライアスロン    |             |             |

このほか得点の対象外になりますが、「特別競技」、「公開競技」、「デモンストレーションスポーツ」に区分し、多くの競技を実施します。

## 2. 全国障害者スポーツ大会とは

全国障害者スポーツ大会（全スポ）は、国民スポーツ大会終了後に同じ都道府県で開催される障がい者スポーツの全国的な祭典です。

### 【目的】

- ① 障がい者が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験すること
- ② 国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与すること

### 【形式】

全国から都道府県・指定都市の選手団が参加し、全国の障がい者スポーツの交流の場として、人と人との交流、地域との連帯を深める機会となります。

### 【実施競技】

●実施予定競技（正式競技 個人競技：7 競技）	
・陸上競技（身・知）	・水泳（身・知）
・アーチェリー（身）	・卓球（身・知・精）
・フライングディスク（身・知）	・ボウリング（知）
・ボッチャ（身）	
●実施予定競技（正式競技 団体競技：7 競技）	
・バスケットボール（知）	・車いすバスケットボール（身）
・グランドソフトボール（身）	・ソフトボール（知）
・バレーボール（身・知・精）	・サッカー（知）
・フットソフトボール（知）	

このほか「オープン競技」という区分を設け、多くの競技を実施します。

## 2. 当県における大会開催の意義

1982年に開催された「くにびき国体」、「ふれあい大会」から48年  
2030年に開催を予定する第84国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会「島根かみあり国スポ・全スポ」を機に私たちが描く未来

オール島根で島根愛を醸成し、スポーツを通して豊かな人と地域を創る  
“島根創生の実現を目指して”

本大会では、県民一人一人が参加し協力するなかで、得られる感動や達成感を共有する時間が、地域・年齢・性別・障がいのあるなしを超えた繋がりを創る好機になると考えます。

また、大会に向け県民が一体となって取り組む力を体感し、島根県を代表する選手が躍動する姿を見ることで、将来に続く希望を育む推進力にしたいと考えます。

そして、スポーツを通じた人づくり、郷土愛や地域への誇りを醸成していくことで、活力に満ち、誰もがともに支え合うなかで「笑顔」あふれる地域を目指すために、4つの項目に取り組みます。

### 1. スポーツを通じて人と地域をつくる大会

#### ○スポーツに親しむ環境づくり

県民が「する」、「みる」、「ささえる」など様々な立場でスポーツを身近に感じ、触れられる環境を整備することで、地域コミュニティの維持・発展、健康増進につなげます。

#### ○スポーツの普及・推進

前回くにびき国体を契機に地域に根ざした奥出雲町のホッケーや美郷町のカヌーのように、地域や学校等との連携により、スポーツに関わる人材を育成するとともに、その受け皿をつくることで、地域に活力を生み出します。

### 2. とともに支え合う社会を推進する大会

#### ○共生社会の推進

若者から高齢者、障がいのあるなしに関係なく、誰もが日常的にスポーツを楽しむことができる環境づくりに努めます。

#### ○障がい者への理解促進

全ての人と一緒にスポーツを楽しむことで、絆を育み、お互いを理解し、支え合う意識をもてる社会を目指します。

### 3. 環境に配慮したコンパクトな大会

#### ○環境負荷の低減

既存施設の改修や隣県施設の活用、リサイクル等による環境へ与える負荷を低減することを考慮し、準備に取り組みます。

#### ○多様な人との協働

大会を運営する関係団体だけでなく、その他企業・団体や県内外からのボランティアなど、多様な人々と協働することで効率的な大会運営を目指します。

### 4. 地域活性化につながる大会

#### ○県民一人一人によるおもてなし

県民総参加で大会を盛り上げるとともに、全国各地から来県される方々を心のかもったおもてなしで迎えることで、大会を通じて島根ファンを増やすことにつながります。

#### ○島根県の多彩な魅力の発信

島根が誇る自然、歴史、伝統芸能や伝統工芸などの文化・芸術及び食やサービスについて情報を発信していくとともに、触れられる機会をつくります。

# 島根かみあり国スポ

## 国民スポーツ大会(国スポ)とは

毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。

### 目的

- ①広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図ること
- ②地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすること

### 形式

競技得点の合計を競い合う、都道府県対抗方式で開催されます。天皇杯(男女総合成績1位)・皇后杯(女子総合成績1位)の獲得を目指し、都道府県代表選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

### 正式競技(37競技 ※競技得点対象)

- |         |             |         |             |          |
|---------|-------------|---------|-------------|----------|
| ●陸上競技   | ●体操         | ●卓球     | ●剣道         | ●ゴルフ     |
| ●水泳     | ●バスケットボール   | ●相撲     | ●ラグビーフットボール | ●軟式野球    |
| ●サッカー   | ●レスリング      | ●フェンシング | ●スポーツクライミング | ●銃剣道     |
| ●テニス    | ●セーリング      | ●柔道     | ●カヌー        | ●なぎなた    |
| ●ローイング  | ●ウエイトリフティング | ●ソフトボール | ●アーチェリー     | ●トライアスロン |
| ●ホッケー   | ●ハンドボール     | ●バドミントン | ●空手道        |          |
| ●ボクシング  | ●自転車        | ●弓道     | ●クレー射撃      |          |
| ●バレーボール | ●ソフトテニス     | ●ライフル射撃 | ●ボウリング      |          |

このほか得点の対象外になりますが、「特別競技」「公開競技」「デモンストレーションスポーツ」として多くの競技を実施します。

# 島根かみあり全スポ

## 全国障害者スポーツ大会(全スポ)とは

国民スポーツ大会(国スポ)に続き毎年開催されている障がい者スポーツの全国的な祭典です。

### 目的

- ①障がい者が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験すること
- ②国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与すること

### 形式

全国から都道府県・指定都市の選手団が参加し、全国の障がい者スポーツの交流の場として、人と人との交流、地域との連帯を深める機会となります。

### 正式競技・個人競技(7競技)

- 陸上競技(身・知)
- 水泳(身・知)
- アーチェリー(身)
- 卓球(身・知・精)
- フライングディスク(身・知)
- ボウリング(知)
- ポッチャ(身)

### 正式競技・団体競技(7競技)

- バスケットボール(知)
- 車いすバスケットボール(身)
- グランドソフトボール(身)
- ソフトボール(知)
- バレーボール(身・知・精)
- サッカー(知)
- フットソフトボール(知)

(身)は身体障がい者の方が参加できる競技 (知)は知的障がい者の方が参加できる競技  
(精)は精神障がい者の方が参加できる競技

このほか「オープン競技」として多くの競技を実施します。



# 開催基本構想

The 84th JAPAN GAMES - The 29th National Sports Festival for People with an Impairment

自分を**超**えろ、**神話**をつくれ  
**島根かみあり国スポ全スポ**  
 第84回国民スポーツ大会 **2030** 第29回全国障害者スポーツ大会

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会事務局  
 (島根県環境生活部島根かみあり国スポ全スポ準備室内)  
 〒690-8501 島根県松江市殿町1番地 TEL.0852-22-6096 FAX.0852-22-6833 <https://www.shimane-kamiari2030.jp>



Webサイト

# 01 スポーツを通じて 人と地域をつくる大会



## スポーツに親しむ環境づくり

県民が「する」「みる」「ささえる」など様々な立場でスポーツを身近に感じ、触れられる環境を整備することで、地域コミュニティの維持・発展、健康増進につなげます。

## スポーツの普及・推進

前回くにびき国体を契機に地域に根ざした奥出雲町のホッケーや美郷町のカヌーのように、地域や学校等との連携により、スポーツに関わる人材を育成するとともに、その受け皿をつくることで、地域に活力を生み出します。



1982年に開催された「くにびき国体」から48年  
2030年に開催を予定する第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会  
「島根かみあり国スポ・全スポ」を機に私たちが描く未来

オール島根で島根愛を醸成し、  
スポーツを通して豊かな人と地域を創る  
“島根創生の**実現**を目指して”



# 02 とともに支え合う社会を 推進する大会

## 共生社会の推進

若者から高齢者、障がいのあるなしに関係なく、誰もが日常的にスポーツを楽しむことができる環境づくりに努めます。

## 障がい者への理解促進

全ての人と一緒にスポーツを楽しむことで、絆を育み、お互いを理解し、支え合う意識をもてる社会を目指します。



島根県観光キャラクター  
「しまねっこ」

本大会では、県民一人一人が参加し協力するなかで、得られる感動や達成感を共有する時間が、地域・年齢・性別・障がいのあるなしを超えた繋がりを創る好機になると考えます。また、大会に向け県民が一体となって取り組む力を体感し、島根県を代表する選手が躍動する姿を見ることで、将来に続く希望を育む推進力にしたいと考えます。そして、スポーツを通じた人づくり、郷土愛や地域への誇りを醸成していくことで、活力に満ち、誰もがともに支え合うなかで「笑顔」あふれる地域を目指すために、4つの項目に取り組みます。

# 03 環境に配慮した コンパクトな大会



## 環境負荷の低減

既存施設の改修や隣県施設の活用、リサイクル等により、環境へ与える負荷を低減することを目指し、準備に取り組みます。

## 多様な人との協働

大会を運営する関係団体だけでなく、その他企業・団体や県内外からのボランティアなど、多様な人々と協働することで効率的な大会運営を目指します。

# 04 地域活性化に つながる大会



## 県民一人一人によるおもてなし

県民総参加で大会を盛り上げるとともに、全国各地から来県される方々を心のこもったおもてなしでお迎えする。今大会を通じて島根ファンを増やすことにつなげます。

## 島根県の多彩な魅力の発信

島根が誇る自然、歴史、伝統芸能や伝統工芸などの文化・芸術及び食やサービスについて情報を発信していくとともに、触れられる機会をつくります。

## 第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針

### 1 目的

第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の県民運動は、大会開催に向け県民一人一人が様々な形で参加、協力し、各地域においておもてなしの心で来県者を迎えることにより、達成感や感動を分かち合い、生まれる夢や希望が郷土愛の醸成につながる大会の実現を目指して展開していきます。

また、大会開催を契機に、県民誰もがスポーツに親しみ、生涯にわたってスポーツに取り組む機会を増やし、スポーツを通じた地域の魅力発信や活力あふれる地域づくりに寄与することを目的とします。

### 2 目標

#### (1) スポーツに親しむ環境づくり

大会開催を機に、県民誰もがスポーツを身近に感じ、各地域でスポーツに触れられる環境を整備することにより、生涯にわたりスポーツに取り組む機会を増やし、スポーツを通じた地域コミュニティの維持や発展、健康増進につながるよう取り組みます。

#### (2) 県民総参加による大会の盛り上げ

すべての県民が、大会イベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げます。

#### (3) 県民一人一人によるおもてなし

すべての県民が来場者をおもてなしの心でお迎えし、あたたかい県民性に触れてもらうことにより、大会を通じて島根ファンを増やし、島根県の魅力を高められるよう取り組みます。

#### (4) 島根県の多彩な魅力の発信

すべての県民が、自然・文化・歴史・食など島根県の魅力を再認識し、大会開催を魅力発信の契機ととらえ、来場者をはじめ多くの方々へ伝えられるよう取り組みます。

### 3 運動の進め方

県民の方々の理解のもと、県、市町村、競技団体をはじめ、県準備（実行）委員会構成員が互いに連携・協力しながら取り組みます。

## 第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画

第 84 回国民スポーツ大会及び第 29 回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、次の取組により、開催に向けた全県的な県民運動を推進する。

### 1 具体的取組（主な取組例）

- (1) スポーツに親しむ環境づくり
  - ・デモンストレーションスポーツやスポーツイベントへの参加
  - ・地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室への参加
  - ・ライフステージに応じた運動やレクリエーションなど、日常生活へのスポーツの取り入れ
  
- (2) 県民総参加による大会の盛り上げ
  - ・両大会の関連イベントや行事への参加
  - ・競技会場での観戦や選手の応援
  - ・ボランティア活動への参加
  - ・募金や企業協賛による協力
  
- (3) 県民一人一人によるおもてなし
  - ・明るい笑顔で元気なあいさつと親切で丁寧な対応
  - ・きれいな街づくりにより来県者を歓迎
  - ・のぼりや案内看板などによる選手の歓迎、応援
  - ・文化・芸術、郷土料理や特産品などによるおもてなし
  
- (4) 島根の多彩な魅力を全国に発信
  - ・自然・文化・歴史などの島根の多彩な魅力の紹介
  - ・郷土料理、ご当地グルメの紹介
  - ・島根の特産品を PR

参考資料

推進スケジュール（案）

年 度	主 な 事 業 内 容
令和5年度 (2023年度) 【7年前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催基本方針の策定</li> <li>・開催基本計画の策定</li> </ul>
令和6年度 (2024年度) 【6年前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民運動アクションプログラム（仮）の策定</li> </ul>
令和7年度 (2025年度) 【5年前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>[開催内定]</li> <li>・県民運動の推進開始</li> </ul>
令和8年度 (2026年度) 【4年前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報支援ボランティア募集・登録開始</li> </ul>
令和9年度 (2027年度) 【3年前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>[開催決定]</li> <li>・広報ボランティア募集・活動開始</li> </ul>
令和10年度 (2028年度) 【2年前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会運営ボランティアの募集・養成</li> </ul>
令和11年度 (2029年度) 【1年前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサル大会</li> </ul>
令和12年度 (2030年度) 【開催年】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本大会</li> </ul>

# 第29回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村（第1次選定）

令和6年3月14日  
第4回常任委員会決定

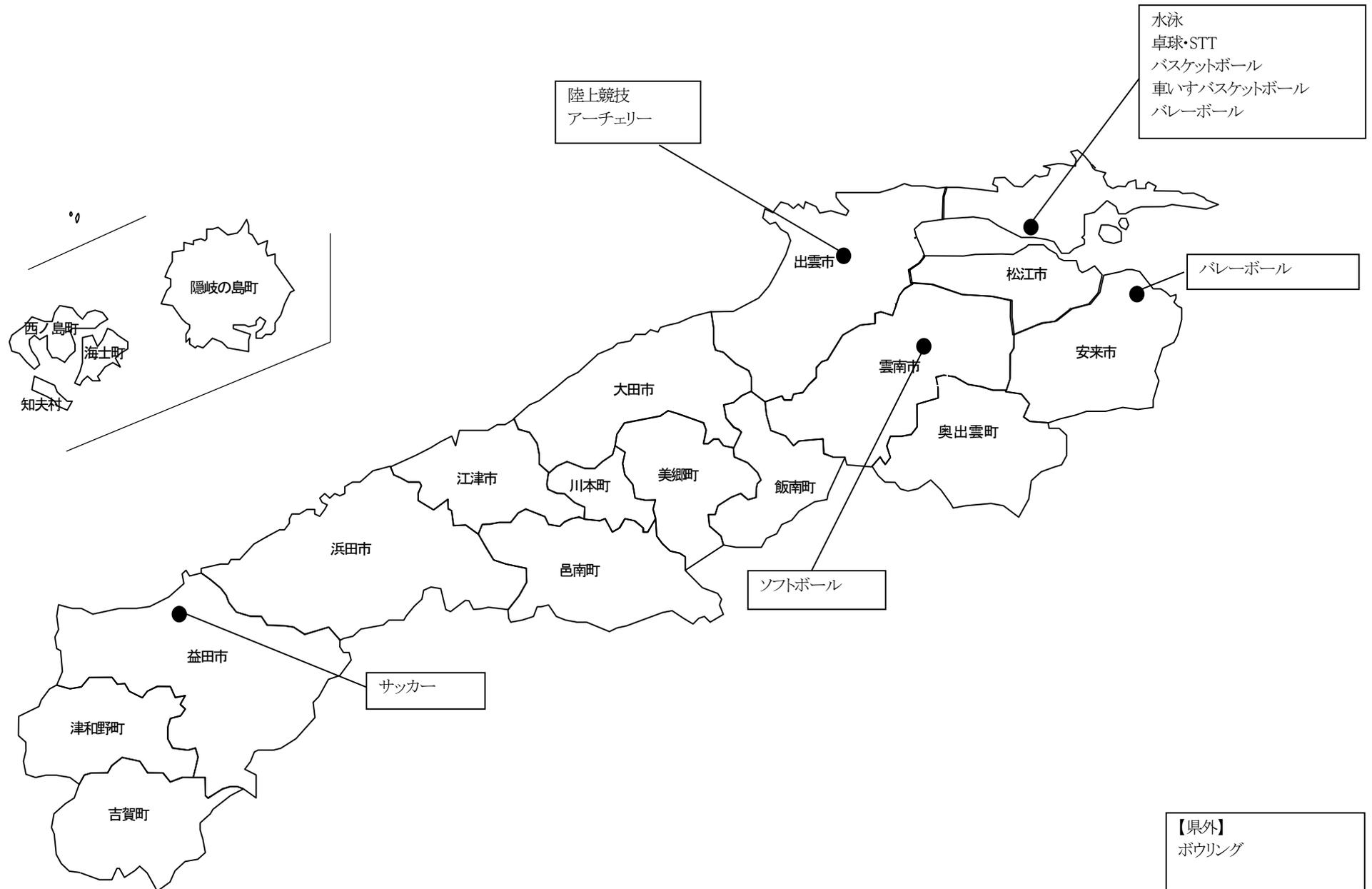
	競技名 (※1)	独自	区分			市町村名	開催予定施設 (※2)	選定状況
			身	知	精			
個人競技	陸上競技		○	○		出雲市	県立浜山公園陸上競技場	第1次
	水泳		○	○		松江市	県立水泳プール	第1次
	アーチェリー		○			出雲市	出雲市内特設会場	第1次
	卓球・STT (※3)		○	○	○	松江市	くにびきメッセ (島根県立産業交流会館)	第1次
	フライングディスク	●	○	○				調整中
	ボウリング			○		県外	(国スポと同会場)	第1次
	ボッチャ	●	○					調整中
団体競技	バスケットボール			○		松江市	松江市総合体育館	第1次
	車いすバスケットボール	●	○			松江市	松江市総合体育館	第1次
	ソフトボール			○		雲南市	雲南市内特設会場	第1次
	グラウンドソフトボール	●	○					調整中
	フットソフトボール	●		○				調整中
	バレーボール			○				第1次
					○		松江市 安来市	鹿島総合体育館 安来市民体育館
					○		第1次	
サッカー			○		益田市	県立サッカー場 益田運動公園陸上競技場	第1次	

(※1) 本県で開催予定の島根かみあり全スポの実施競技は、令和6年中に(公財)日本パラスポーツ協会が決定する予定のため、今後変更となる可能性がある

(※2) 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、国スポに係る中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある

(※3) STT : サウンドテーブルテニスの略

# 第29回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村第1次選定



## 第29回全国障害者スポーツ大会 ボランティア養成基本方針

第29回全国障害者スポーツ大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者（以下「大会参加者」という。）並びに一般観覧者をサポートするため、大会参加者や一般観覧者を温かくもてなす「大会運営ボランティア」をはじめ、手話や要約筆記等の専門技能で情報提供を行う「情報支援ボランティア」、選手団と行動を共にし、選手の実力を最大限に引き出す「選手団サポートボランティア」など、各種ボランティアを計画的に養成する。

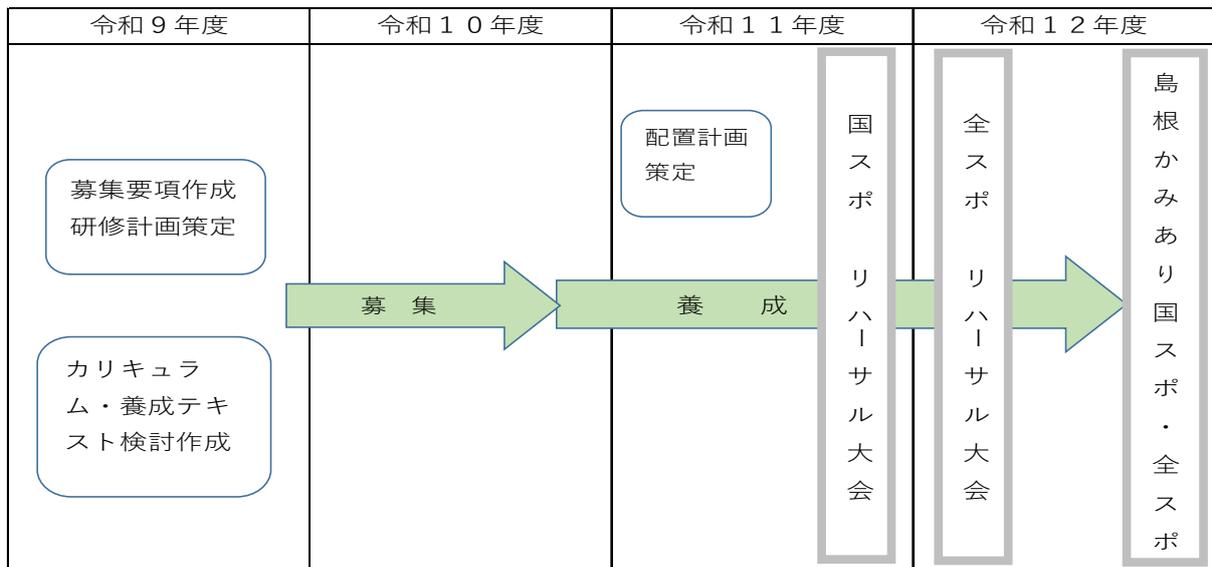
### 1 大会運営ボランティア

大会参加者及び一般観覧者をおもてなしの心でお迎えするため、第84回国民スポーツ大会と連携して、大会運営ボランティアを広く県民から募集する。

#### (1) 種別及び内容（想定）

種別	内容	人数
案内・介助	総合案内所などでの案内・誘導・介助	3,500人
会場整理	観客の改札、案内、誘導等	
会場美化	飾花の管理、会場内の清掃等	
会場サービス	弁当・飲み物の配布等	
式典	開・閉会式等の式典補助	
おもてなし広場	おもてなし広場の運営補助等	

#### (2) 養成スケジュール



## 2 情報支援ボランティア

聴覚障がい者への情報保障を図るとともに、すべての人に分かりやすい情報提供を行うため、関係団体等の協力を得ながら、各種情報支援ボランティアを養成する。

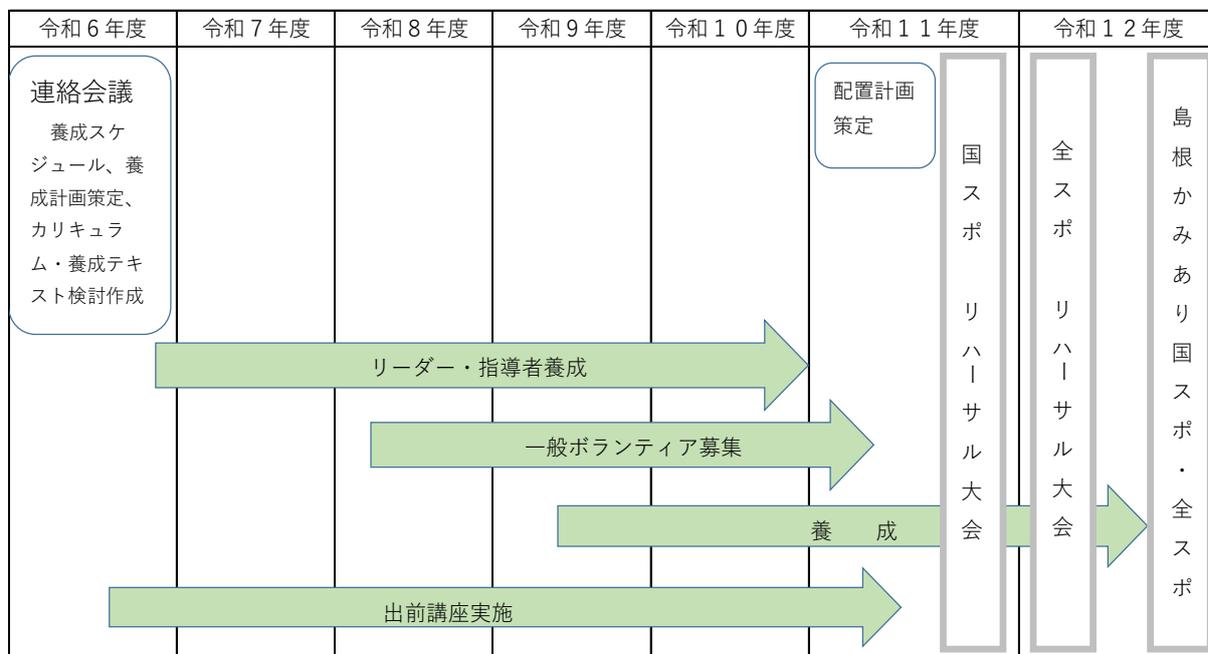
### (1) 種別及び内容（想定）

種 別		内 容	人 数	
手 話		手話による情報の提供及びコミュニケーション保障	400人	
要約筆記	手書き	ノートテイクやホワイトボードを使用した情報の提供	150人	200人
	パソコン	パソコンに入力したデータ情報による情報の提供	50人	
合 計			600人	

### (2) 養成協力団体

社会福祉法人島根県社会福祉事業団（島根県聴覚障害者情報センター）等

### (3) 養成スケジュール



### 3 選手団サポートボランティア

大会に参加する選手及び役員の介助・誘導等のサポートを行い、大会運営の円滑化を図るとともに、選手との交流を通して次世代の若者が障がいのある人への理解を深め、大会終了後も、様々なボランティアとして地域で活躍するきっかけとなるよう、学生等で構成する選手団サポートボランティアを養成する。

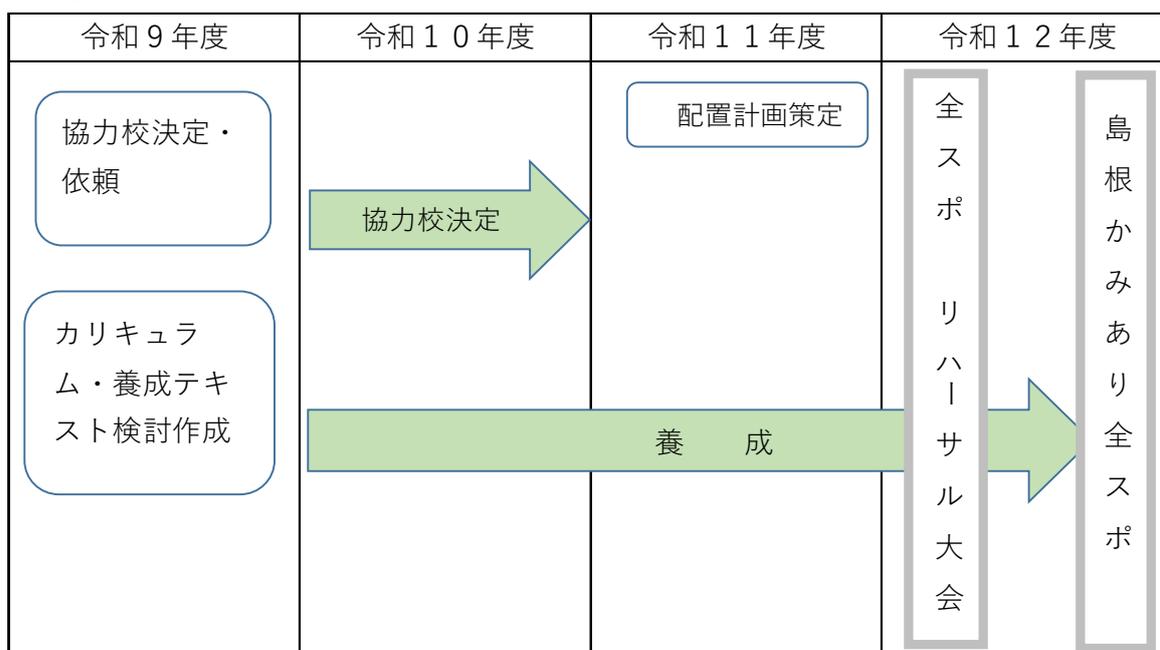
#### (1) 種別及び内容（想定）

種別	内容	人数
選手団サポート	選手団の歓送迎・介助・誘導・交流等	800人

#### (2) 養成協力団体

大学・専門学校 等

#### (3) 養成スケジュール



第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会  
島根県準備委員会事務局

(島根県環境生活部島根かみあり国スポ・全スポ準備室内)

〒690-8501

島根県松江市殿町1番地

TEL:0852-22-6096 FAX:0852-22-6833

E-mail: kokumin-sports@pref.shimane.lg.jp